



令和7年12月19日

注目すべき
感染症情報

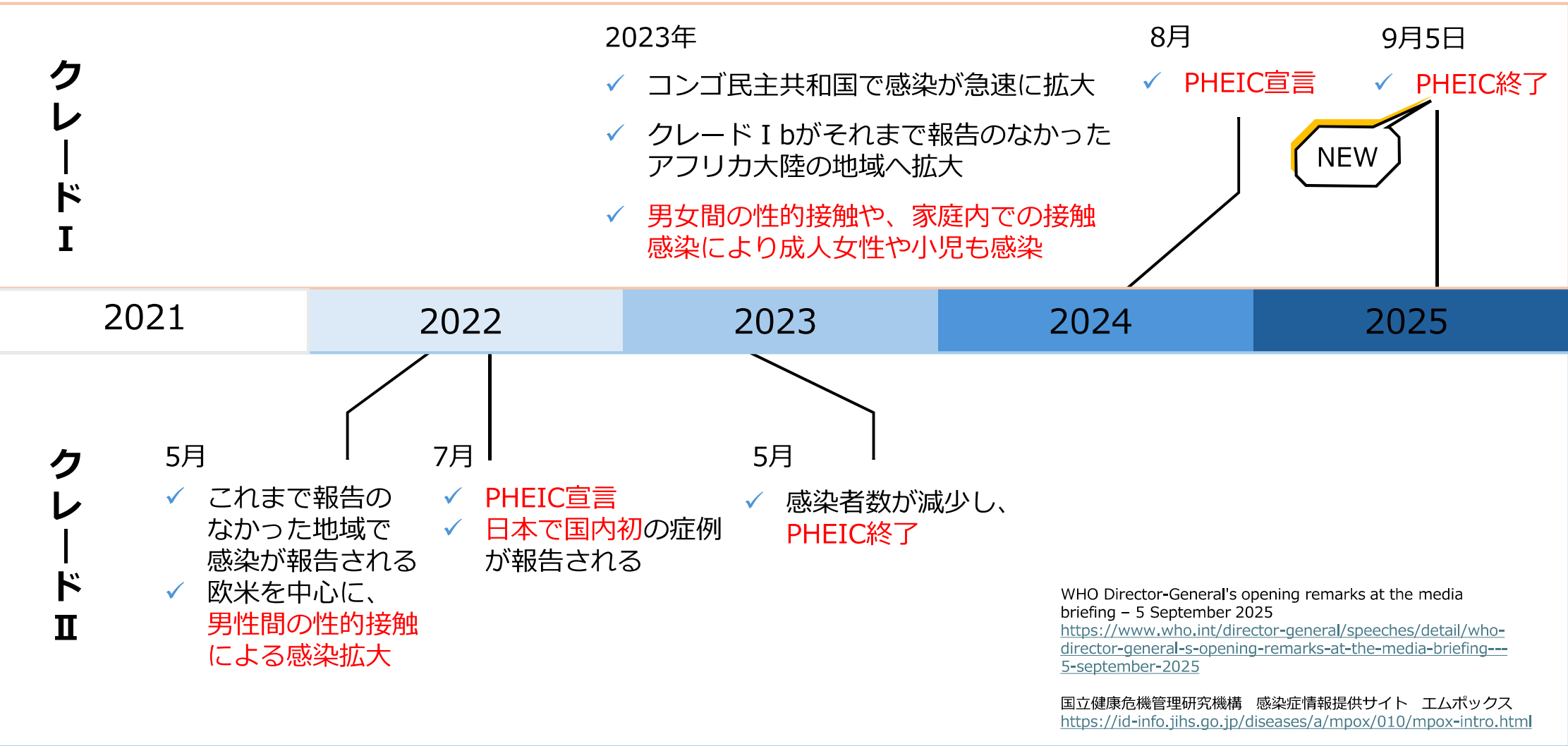
本日の話題

エムポックス

イギリスで新たなエムポックスウイルス株の発見

エムポックス これまでの世界の流行状況

1970年にザイールで報告されて以来、アフリカ中央部～西部で発生していた
アフリカ以外では流行地域の帰国者の散発的に発生報告の他、輸入された動物からの感染例が見られていた



クレード I b、II bの特徴

CDC Clinical Overview of Mpoxより日本語訳し引用
https://www.cdc.gov/mpox/hcp/clinical-overview/index.html#cdc_clinical_overview_pre_risk-prevention
(2025年12月18日閲覧)

	Clade I b	Clade II b
地理的状況	コンゴ民主共和国で新たに確認され、その周辺国に拡大 渡航関連症例が世界で発生	西アフリカに土着 2022年に始まったアウトブレイクの一部として100以上の国に拡大
2022年以降の主な患者層	成人（しばしば性産業従事者やその接触者） 家庭内接触による日常的な二次感染も	成人、特にMSMでの世界的な流行
伝播様式として知られている事項	密接な皮膚接触（マッサージやキス等の親密な接触や性的な接触）、家庭内感染、母子感染	密接な皮膚接触（マッサージやキス等の親密な接触や性的な接触）、家庭内感染、母子感染、医療従事者の鋭利物による刺傷や物品媒介感染は稀だが報告がある
致死率	中央・東アフリカにおける死亡率は0.5%未満 死亡例の大半は免疫不全状態にある患者 アフリカ国外の渡航関連症例では死亡例は確認されていないが、データは限定的	死亡率は0.1%未満 死亡の大部分は免疫不全状態にある人々

JIHS「エムポックスの発生状況とその暫定評価」2025年9月8日時点

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/mpox/150/250328_clade1mpox_3.html

- ✓ 当初クレード I はクレード II と比較して致命率が高いという報告があったが、今回の流行では疫学的に
いずれのクレードでも致命率は過去の報告より低く、適切な支持療法により低下すると報告された
- ✓ いずれのクレードも主な感染経路は性的接触で、一部家庭内での濃厚接触による感染も報告されている
- ✓ クレードによる致命率や感染・伝播性等の差は顕著ではないと考えられることから、クレード別に異なる対応を行う必要はないと考えられる

国内初のクレード I b症例の発生

兵庫県 9月16日記者発表資料より

エムポックス（クレード I b）の患者の発生について

【概要】

神戸市保健所管内において、エムポックスの患者の届出がありました。（別添参照）
検査の結果、エムポックス（ウイルス型：クレード I b）と判明し、国内で初めて報告されたウイルス型になります。

※エムポックスの発生状況（累計） 全国 254 件（2025 年 9 月 12 日現在）

1 患者の概要

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 年代・性別 | 20 歳代、女性 |
| (2) 医療機関受診日 | 令和 7 年 9 月 12 日 |
| (3) 症 状 | 発熱、咽頭痛、水疱、リンパ節腫脹 |
| (4) 海外渡航歴 | あり（アフリカ） |
| (5) 患者の状況 | 状態は安定している。 |

※報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

- ✓ 神戸市保健所管内で、9月13日にエムポックスの届出があった
- ✓ 検査の結果、ウイルス型が **クレード I b**であることが判明した（国内初報告）
- ✓ 患者は20代女性で、**アフリカへの渡航歴**が確認されている

兵庫県「エムポックス患者の発生」
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/press/20250916.html>

★発生時の参考資料★

発生時の対応について：K-net内の「エムポックス対応マニュアル及び事務連絡等」

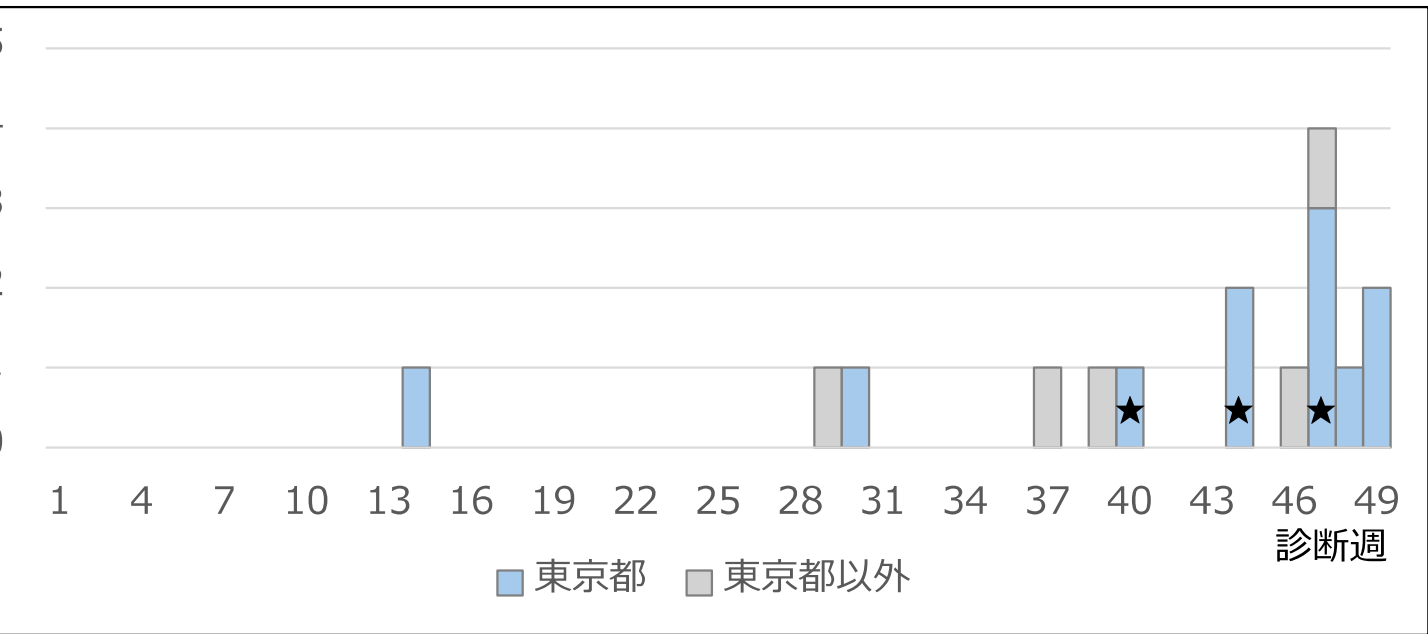
感染対策・治療・ワクチンについて：「エムポックス診療の手引き第3.0版」

（↑一般啓発向け資料もまとまっています） https://dcc-irs.jihs.go.jp/document/manual/mpox30_20250408.pdf

国内のエムポックスの発生状況（全国・東京都）

2025年第49週までの全国における診断週ごとのエムポックス報告数

国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>



※IDWRの速報値より作成
※東京都の50週の報告数は2例
※都内症例で推定感染地域国外のものには「★」をつけています

2025年第50週までに東京都で報告された症例の特性（n=13）

年齢		
平均値(標準偏差)[最大値,最小値] 38.8(11.1)[58,23]		
性別		
男	13例	女 0例
症状		
発疹 85% 発熱 46% 咽頭痛 23% リンパ節腫脹 23% 直腸肛門痛 15% など		
推定感染地域		
国内 8例 国外 3例 不明 2例		

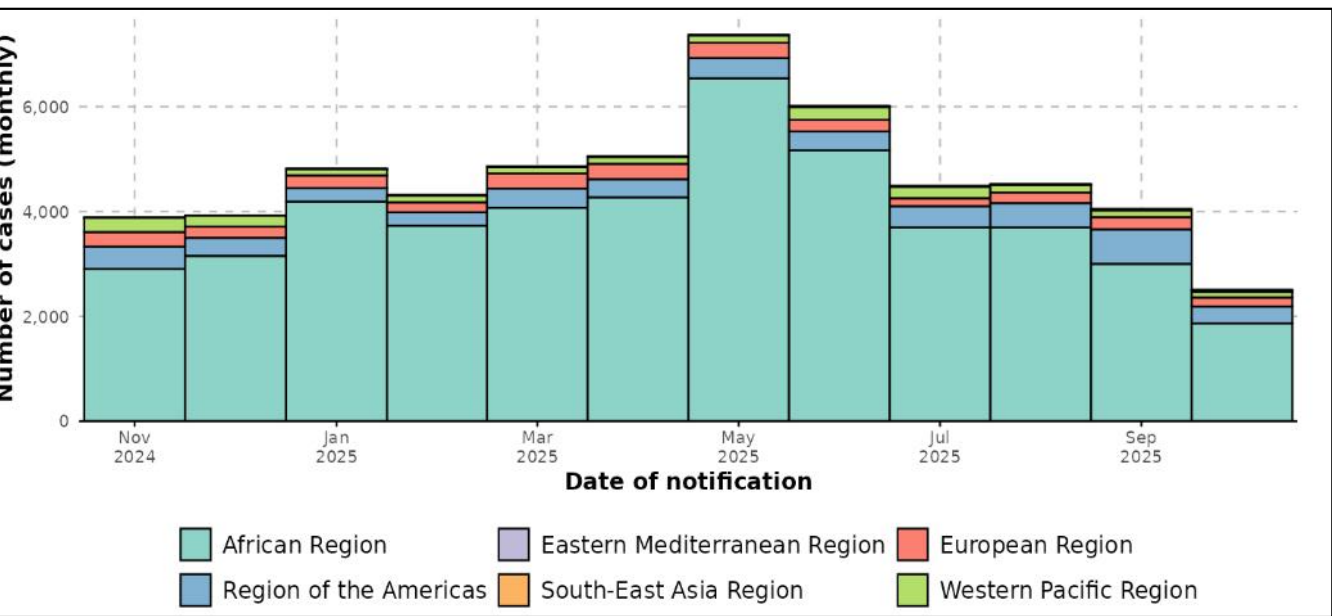
※NESID登録情報より作成

- ✓ 全国では49週までに全16例の報告で、うち11例が東京都
- ✓ 都外の5例は大阪府2例、長野県、京都府、兵庫県各1例
- ✓ 東京都で50週までに報告された13例はいずれもクレードⅡ

世界のエムポックスの発生状況

Multi-country external situation report no. 60 published 8 December 2025
<https://www.who.int/publications/m/item/multi-country-outbreak-of-mpox--external-situation-report--60---8-december-2025>
Global Mpox Trends
https://worldhealthorg.shinyapps.io/mpox_global/

世界全体における2024年11月～2025年10月の地域別のエムポックス確定例



9月5日～11月24日の期間に、クレードIbの持続的な地域内感染が発生している地域以外で報告されたクレードIb症例

WHO Region	Country	Confirmed Clade Ib MPXV cases	Cases among men who have sex with men	Transmission status
Africa	Namibia	2*	0	Cases linked to household transmission
Americas	Canada	1	0	Case linked to travel
	United States	3	3	Community transmission
South-East Asia	Thailand	5	3	Cases linked to travel
Eastern Mediterranean	Qatar	2	0	Case linked to travel
European	Belgium	1	1	Cases linked to travel
	France	1	0	Case linked to travel
	Germany	3	0	Cases linked to travel
	Greece	1	0	Case linked to travel
	Ireland	2	0	Cases linked to household transmission and healthcare
	Italy	2	0	Community transmission
	Netherlands	9	8	Community transmission
	Portugal	1	0	Community transmission
	Spain	6**	6	Community transmission
	United Kingdom	1	0	Cases linked to travel
Western Pacific	Australia	1	0	Case linked to travel
	Japan	1	0	Case linked to travel
	Malaysia	1	1	Community transmission
Total		43	22	-

*One additional case is not yet confirmed; therefore, it is not included in the table.
**Two additional cases of mpox due to clade I MPXV among MSM, with no recent travel, did not have subclade information available

- ✓ 2025年1月1日～10月31日に世界の94か国から全47980例のエムポックス確定例が報告された。死亡例は201例であった
- ✓ 東南アジア地域を除く全地域で、2025年10月の報告数は9月と比較して減少傾向を示した（東南アジア地域は9月：23例→10月：36例に増加した）
- ✓ 渡航に関連したクレード I b症例が世界各地で確認されている

新たなエムポックスウイルス株の発見

News story

New mpox strain identified in England

UKHSA reminds eligible groups to come forward for mpox vaccination.

From: [UK Health Security Agency](#)

Published 30 October 2024

Last updated 8 December 2025 — [See all updates](#)



- ✓ 英国保健安全庁（UKHSA）は、最近アジアを旅行した個人から、イングランドで新たな組換え型エムポックスウイルスを特定したと報告した
- ✓ 当該エムポックスウイルスのゲノムにはクレードIbおよびIIbの要素が含まれていることが判明した
- ✓ 両クレードが流行中であることから予想外の結果ではないが、UKHSAは本株の意義について評価を継続中とのこと

<https://www.gov.uk/government/news/ukhsa-detects-first-case-of-clade-ib-mpox>

エムボックス検出用プライマー・プローブセットについて

	感染研（ユニバーサル） NIID（F3L）	クレードIIb 検出用 G2R-WA	クレードIa 検出用 C3L	クレードIb 検出用 Ib
Clade Ia	+	—	+	—
Clade Ib	+	—	—	+
Clade IIb	+	+	—	—
Clade Ib+IIb	+	検証中	—	+

現在エムボックス検査で
使用している検査系

hMpxV/United Kingdom/UKHSA-GD25-156/2020
EPI_ISL_20268819 について配列を比較

検証中の事案について

G2R-WAが（+）の場合：4セットの結果から組み換え体の判別が可能となる。

G2R-WAが（—）の場合：Clade Ib疑いとなり次いで全ゲノム解析を行うため、そこで判明する。

→Clade Ib+IIbを見逃すことはない